令和8年度 園だより



こうきた 10月号

杉並区立高円寺北子供園

海の世界を楽しみながら取り組む運動会



園長　川嶋 佳恵

秋の長雨が続き、心地よい秋晴れはどこへ、という日々ですが……。秋といえば、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、そしてスポーツの秋。様々なことを楽しめる素敵な季節です。私は、澄んだ空気や良い香りが漂う秋が一番好きです。

今月は、運動会を通して「行事と遊びの往還」についてお伝えします。「往還」とは、行ったり来たりすることです。園生活の中で、遊びと行事への取り組みは別々にあるのではなく、遊びの中で生まれたイメージや楽しさが行事につながり、行事への取り組みが、また日々の遊びへと戻っていきます。遊びの続きのように行事を楽しんだり、行事で経験したことを遊びに取り入れ、さらにイメージを広げたりする。このような遊びと行事の往還は、子どもたちが様々な行事の活動に楽しんで取り組むことや、意欲的に取り組むことに大いに影響するものだと考えます。

高円寺北子供園では、毎年、運動会にテーマを設けています。一昨年度は「宇宙」、昨年度は、「忍者」がテーマでした。今年は、「海」をテーマとし、～勇気と希望の帆をあげろ！～をスローガンに掲げました。

テーマは、保育者が思い付きで決めているわけではありません。その年の年長児がこれまでの園生活の中で興味・関心をもち、繰り返し楽しんできた遊びやイメージを大切にしています。そして、その世界の中で動く子どもたちの姿を想像したとき、「きっと楽しみながら自分の力を十分に発揮できる」と確信できるものを選びます。今年度の「海」は、ずいぶん前から「きっとそうなるだろうな」と思っていました。今のぞう組の子どもたちが、ジンベイザメやマンタが大好きな幼児の影響もあり、年少の頃から海の生き物への興味が強く、繰り返し水族館ごっこを楽しんできたからです。学年が上がるにつれ、作る魚や海の生き物は本物らしくなり、大きさや形にも細かな工夫が見られるようになりました。本当に海の生き物が大好きな子どもたち。「この子たちが年長になったら、運動会は絶対に『海』だよね」と、いつしか保育者の間でも暗黙の了解になっていました。

テーマが決まると、各学年の担任は、まず遊びの中で十分に「海」の世界を楽しむにはどのような環境が必要か、どんなモチーフなら子どもたちがわくわくするのかを考えます。そして、そこで生まれた楽しさを少しずつ運動会へとつないでいきます。

うさぎ組のモチーフは、動きがかわいらしく、子どもたちにも親しみやすい「ペンギン」です。保育室にはペンギン人形の「ポポちゃん」が現れ、ペンギンのおうちや紙コップのペンギン作りのコーナーができました。廊下には海やワカメが広がり、ペンギンのお面を作ったり、氷の山を滑ったり、海を泳いだり……。ペンギンダンスの曲も、遊びの中でいつでも踊れるようにしています。子どもたちは、自分から様々な遊びに関わりながら、「海」と「ペンギン」の世界を楽しんでいます。

くま組のモチーフは「魚」です。年少の頃から、海のイメージや魚になって遊ぶことが大好きだった子どもたち。保育室には、子どもたちが絵の具で描いた海が広がり、そこに魚やタコなど、自分たちで描いた生き物を泳がせています。廊下には、ぞう組と一緒に作ったバブルアートの海も広がり、まるで本当の海の底のようです。また、子どもたちが魚になり切って動くストーリー展開が楽しいのです。クマノミ人形の「サニー」が現れ、子どもたちを海の底（アンダー・ザ・シー）へといざないます。海の底にはトロピカルランドと呼ばれる平和な空間があり、魚たちは幸せに暮らしているのですが、海の魔王や手下のサメ「ガブ」も登場し、様々ないたずらを仕掛けてきます。子どもたちは学級のみんなでこのストーリーを共有しながら、魚になり切って海の世界を楽しんでいます。

そして、ぞう組は「海賊」です。年長児にとって「かっこいい！」も、心をわくわくさせる大切な要素です。保育室で宝の地図のかけらが見付かったことから、海賊への興味が一気に高まりました。数日かけて地図が完成すると、今度は段ボールカッターを使って大きな海賊船作り。船内の部屋、帆、舵輪が作られ、宝も運び込まれ、本格的な海賊船が完成しました。１４人の子どもたちは、それぞれ海賊になって剣や双眼鏡を身に付け、海賊船で遊びます。さらに幽霊船ができ、オオダコを大砲で狙ったり、壁面に大きなサメが現れたり、海賊警察が海を取り締まったりと、次々に新しいストーリーが子どもたちから生まれています。その場に行くと、夢中になって遊ぶ子どもたちの瞳の輝きと「わくわくオーラ」が素敵すぎて、見ている私までわくわくしてきます。

これらのすべての遊びが運動会のテーマ「海」でつながり、遊びの中で味わってきた海の世界の楽しさやわくわくをそのままに、当日の運動会を迎えます。つまり、本園の運動会は、行事のために遊びや生活と切り離れた競技やリズムを行うのではなく、日常の楽しい遊びや活動と深くつながり、子どもたちが楽しんで、意欲的に参加する運動会だということです。そして、その運動会は、当日がゴールではありません。当日の楽しい雰囲気や取り組んだリズムや競技の面白さ、頑張った気持ちが日常の遊びや活動に戻り、しばらくの間、学年を超えて運動会ごっこを楽しむのです。

「高円寺北子供園は、遊びの導入から行事への昇華が、見事だと思います。」 これは、保護者の方が「高円寺北子供園の素敵なところ」について書いてくださったアンケートの言葉です。高円寺北子供園が大切にしている「遊びの中の学び」のために私たちが尽力し、子どもたちがいつもわくわくしながら楽しさや満足感、充実感を感じながら夢中になって遊ぶ中でつかみ取った学びを、行事を楽しみながら思い切り発揮する姿を、このように受け止めてくださったことをとてもうれしく思います。

さあ、今年はどんな「海の世界」が広がるのでしょう。子どもたち一人ひとりの「わくわく」がいっぱい詰まった、高円寺北子供園の楽しくて、素敵な運動会を、どうぞお楽しみに！

≪今月の指導≫

★3歳児　うさぎ組

うさぎ組の子どもたちは、ペンギンをつくったり、ペンギンになったりして遊んでいます。巧技台や一本橋の場を氷の島に見立ててペンギンダンスをしたり、「よーいどん」の合図でかけっこをしたりしながら、みんなで体を動かすことを楽しんでいます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

●やりたい遊びを繰り返し楽しんだり、面白そうな遊びに自分から関わって遊んだりする

●教師や学級の幼児と体を動かす楽しさを感じる。

●自分でできることを自分でやってみようとする。

日々の保育の中で子どもたちが繰り返し遊んでいることを、運動会でも楽しめるようにしていきます。

★4歳児　くま組

登園すると、すぐに友達と誘い合って遊び始める姿が見られます。遊ぶ中でも友達と相談したり、一緒に何かをつくったり、友達と関わることの楽しさをたくさん感じています。また、海のイメージをもって、海の生き物や海賊になりきり、体を動かしたり道具をつくったりして、運動会に向けての遊びや活動を楽しんでいます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

●学級の中で伸び伸びと自分の思いや動きを出して遊ぶことを楽しむ。

●みんなで体を動かす心地よさを感じ、いろいろな動きを楽しむ。

●身の回りの物の始末や、使ったものの片付けを進んで行おうとする。

運動会で楽しんだことが他の遊びにも広がり、心地よい気候の中で体をたくさん動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

★5歳児　ぞう組

海賊の宝の地図が見つかったことをきっかけに、みんなで海賊になって遊ぶことを楽しんでいます。海賊になりきって「出発だ！船に乗れ！」「宝島に着いたぞ！」など掛け声をかけながら、自分たちでつくった大きな海賊船に乗り込み、海を冒険するイメージで遊んでいます。また、リレーや綱引き、海賊の踊りにも繰り返し取り組んでいます。リレーや綱引きではチームの勝敗を意識するようになり、友達と勝敗の嬉しさや悔しさを共有する姿や、同じチームの友達を応援したり作戦を考えたりする姿もあります。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

●友達と考えを出し合いながら、めあてをもって遊びを進める楽しさを味わう。

●運動会に向かって自分の力を発揮し、やり遂げた達成感や満足感を味わう。

●一日の生活に見通しをもち、友達と声を掛け合いながら生活を進める。

運動会には見通しをもって取り組み、一人ひとりの力が発揮できるようにしていきます。また、運動会を通して深まった友達との関係を大切にしながら、遊びや生活を楽しめるようにしていきます。